

# 衆議院予算委員会公聴会ニュース

平成 27.3.9 第 189 回国会第 1 号

3 月 9 日（月）、第 1 回の公聴会が開かれました。

## 1 平成 27 年度一般会計予算

### 平成 27 年度特別会計予算

### 平成 27 年度政府関係機関予算

- ・公述人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（公述人）

（午前）株式会社大和総研主席研究員	鈴木 準君
日本大学国際関係学部教授	水野 和夫君
公益財団法人東京都医学総合研究所 心の健康プロジェクト主席研究員	西田 淳志君
株式会社政策工房代表取締役社長	原 英史君
（午後）一橋大学国際・公共政策大学院教授	佐藤 主光君
日本労働組合総連合会副事務局長	高橋 睦子君
白梅学園大学子ども学部教授	無藤 隆君
全国労働組合総連合議長	小田川 義和君

（質疑者及び主な質疑内容）

（午前）

### 星野剛士君（自民）

- ・国際競争力の強化のため、法人実効税率を国際的に遜色ない水準まで引き下げる必要があると考えるが、鈴木公述人の見解を伺いたい。
- ・課税ベースの国際的イコールフィッティング及び人件費等がベースとなる外形標準課税の在り方について、鈴木公述人の見解を伺いたい。

### 岡本三成君（公明）

- ・経済成長を鈍化させないために時間差において政策を実行するとの考えについて、鈴木公述人の見解を伺いたい。
- ・3年から5年間程度の短中期で政府が取り組むべき政策について、水野公述人の見解を伺いたい。

### 後藤祐一君（民主）

- ・平成 25 年 2 月 7 日の衆議院予算委員会において安倍内閣総理大臣が、デフレは貨幣的現象である旨の答弁をしているが、これに対する水野公述人及び鈴木公述人の見解を伺いたい。
- ・日本銀行の量的金融緩和について、その評価、出口戦略の在り方及びマーケットへの影響に対する水野公述人の見解を伺いたい。

### 今井雅人君（維新）

- ・道州制の導入について、鈴木公述人、水野公述人及び原公述人の見解を伺いたい。また、大阪都構想がもたらす国への影響について、原公述人の見解を伺いたい。
- ・認知症の予防戦略について、西田公述人の見解を伺いたい。

### 島津幸広君（共産）

- ・アベノミクスにより経済的格差は今後拡大すると考えているか、水野公述人の見解を伺いたい。
- ・若年層を取り巻く雇用環境の悪化や経済的な問題等に対する心のケアの重要性について、西田公述人の見解を伺いたい。

（午後）

### 秋元司君（自民）

- ・消費性向が低調な現在の日本において、消費税を軸とした税制体系を構築すべきと佐藤公述人が提案する理由を伺いたい。
- ・男性の産休取得について国民的理解を広める必要があると考えるが、高橋公述人及び無藤公述人の見解を伺いたい。

### **中野 洋昌君（公明）**

- ・若者雇用対策法案や女性活躍推進法案など、政府が進める取組への評価や今後の更なる改善点について、高橋公述人の所見を伺いたい。
- ・子ども・子育て支援新制度における質の更なる改善に向けて、幼稚園等の専門家による評価や保育アドバイザー制度の設立を提案しているが、他の改善点や諸外国の参考事例について、無藤公述人の所見を伺いたい。

### **山井 和則君（民主）**

- ・政府は、高度プロフェッショナル制度を導入するなど労働時間法制を見直そうとしているが、これに反対する日本労働組合総連合会の意見を高橋公述人から伺いたい。
- ・貧困家庭の子どもに対する支援策の在り方について、無藤公述人の考えを伺いたい。

### **重徳 和彦君（維新）**

- ・少子化対策に成功したフランスの先進事例のうち、日本に適用できる政策と適用が難しい政策について、無藤公述人に伺いたい。
- ・地方創生に係る交付金について、佐藤公述人がどのように評価しているか伺いたい。

### **高橋 千鶴子君（共産）**

- ・子ども・子育て支援新制度は当初必要とされていた予算の半分以下で開始され、特に質の改善については財源の目途が立っていないが、十分な予算措置の必要性及び職員配置基準の改善の重要性などについて、無藤公述人の所見を伺いたい。
- ・残業代ゼロ法案は賃金を抑制する懸念があり、また過労死の増加等につながる恐れもあると考えるが、小田川公述人の所見を伺いたい。